学校番号	

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	古典講読	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂版「古典Ａ」　（大修館書店）						
副教材等	改訂版『これからの古典文法』（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・教科書の内容について、できるだけ多くの教材を学習していく。そうした中で、単語の意味調べや本文写しなど事前にしっかりと準備して授業の場に臨み、積極的に表現や活動をすることが望ましい。
・古典文法や句法については、予習・復習、とりわけ復習を徹底すること。

２　学習の到達目標

古典としての基礎知識や古典文法を理解しながら読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって、わが国の伝統と文化を尊重し自らの人生を豊かにする態度を育む。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	古典を理解する力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	文章の内容を的確に読み取り、自分なりの解釈・考えを深め、発展させている。自分の考えを言葉で表現することができる。	説明箇所を探し出して言葉を書き入れるなど、古典語を現代語同様の日本語として扱うことができる。	古典文法や句法、伝統的な言語文化について正しく理解し、知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察（発言・発表） ・ノート、プリント等の記述の確認	・観察（発言・発表） ・ノート、プリント等の記述の確認 ・定期テスト	・観察（発言・発表） ・ノート、プリント等の記述の確認 ・小テスト ・定期テスト	・観察（発言・発表） ・ノート、プリント等の記述の確認 ・小テスト ・定期テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	物語	『方丈記』	○	○		○	a:教材に興味を持って学習に取り組むことができる。 b:作者の根本にある考え方を理解することができる。また、作者の論理を、現在の問題に適用するなど、自身の観点で特質を考えることができる。 c:授業の流れがわかるよう、ノート・プリントを活用できている。 d:語句や文法に注意して本文を現代語訳できる。	a:行動の観察 b:ノート、プリント等の記述の確認 c:ノート、プリント等の記述の確認 d: 小テストおよび定期テスト
1	漢文	『荀子』より ・性善説の読解		○	○	○	a:教材に興味を持って学習に取り組むことができる。 b:自身の考え方と漢文の思想の共通点・相違点を見つけることができる。また、作者の論理を、現在の問題に適用するなど、自身の観点で特質を考えることができる。 c:授業の流れがわかるよう、ノート・プリントを活用できている。 d:漢文の句法に注意して、漢文を書き下し文に直すことができる。また、語句の意味に注意して、日本語訳ができる。意することができる。注意して本文を現代語訳できる。	a:行動の観察 b:ノート、プリント等の記述の確認 c:ノート、プリント等の記述の確認 d: 小テストおよび定期テスト

1	日記	『蜻蛉日記』より ・「町の小路の女」の読解 ・「鷹を放つ」の読解 ・「兼家、病に倒れる」の読解		○		○	a:教材に興味を持って学習に取り組むことができる。 b:登場人物を整理し、その言葉と行動を読み取ることができる。 c:授業の流れがわかるよう、ノート・プリントを活用できている。 d:重要な語句や文法、和歌の修辞法について知識を深めている。また、語句や文法に注意して本文を現代語訳できる。	a:行動の観察 b:ノート、プリント等の記述の確認 c:ノート、プリント等の記述の確認 d: 小テストおよび定期テスト
2	日記	『和泉式部日記』より ・「薫る香に」の読解 『紫式部日記』より ・「和泉式部と清少納言」の読解 『更級日記』より ・「あこがれ」の読解 『十六夜日記』より ・「駿河路」の読解		○		○	a:教材に興味を持って学習に取り組むことができる。 b:登場人物を整理し、その言葉と行動を読み取ることができる。 c:授業の流れがわかるよう、ノート・プリントを活用できている。 d:重要な語句や文法、和歌の修辞法について知識を深めている。また、語句や文法に注意して本文を現代語訳できる。	a:行動の観察 b:ノート、プリント等の記述の確認 c:ノート、プリント等の記述の確認 d: 小テストおよび定期テスト

2	随筆	『徒然草』より ・「名を聞くより」 ・「世に語り伝ふること」 ・「今日はそのことをなさんと思へど」		○		○	a:教材に興味を持って学習に取り組むことができる。 b:作者の根本にある考え方を理解することができる。また、作者の論理を、現在の問題に適用するなど、自身の観点で特質を考えることができる。 c:授業の流れがわかるよう、ノート・プリントを活用できている。 d:語句や文法に注意して本文を現代語訳できる。	a:行動の観察 b:ノート、プリント等の記述の確認 c:ノート、プリント等の記述の確認 d: 小テストおよび定期テスト
3	物語	『源氏物語』より ・「葵」の読解 ・「御法」の読解	○	○		○	a:物語中の人物描写などを味読し、作品をとりまく時代の背景、文化への理解を深めようとしている。 b:それぞれの場面、登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどることができる。 c:授業の流れがわかるよう、ノート・プリントを活用できている。 d:語句や文法に注意して本文を現代語訳することができる。敬語を理解することができる。	a:行動の観察 b:ノート、プリント等の記述の確認 c:ノート、プリント等の記述の確認 d: 小テストおよび定期テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。